

## 第8節 データセンター市場及びクラウドサービス市場の動向

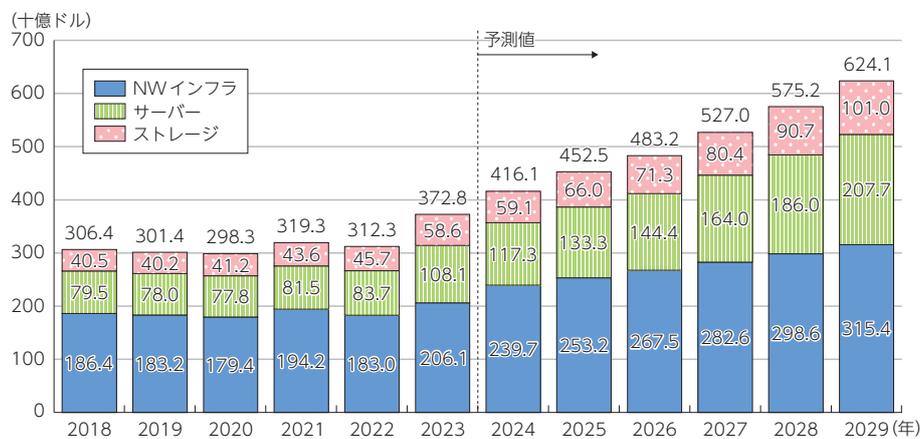
### 1 データセンター

世界各国のデータセンター数は、米国が圧倒的に多く、2025年3月時点で5,426となっている。2位以下15カ国を合計しても3,975であり、米国に集中している。日本は222と米国の4%程度となっている。

世界のデータセンター市場（売上高）は、2024年に4,161億ドルと見込まれ、2029年には6,241億ドルまで拡大すると予測されている。そのうち、約半分がネットワークインフラに関連する機器やサービスとなっている（図表Ⅱ-1-8-1）。

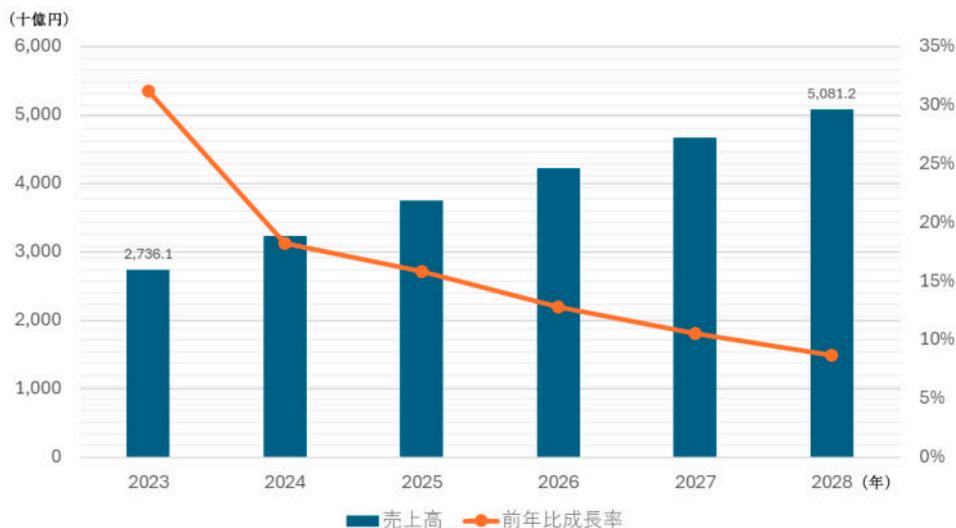
日本のデータセンターサービスの市場規模（売上高）は、2023年に2兆7,361億円であり、2028年に5兆812億円に達すると見込まれる（図表Ⅱ-1-8-2）。

図表Ⅱ-1-8-1 世界のデータセンター市場規模（売上高）の推移及び予測



(出典) Statista Market Insights (2025年2月1日取得データ) を基に作成<sup>\*1</sup>

図表Ⅱ-1-8-2 日本のデータセンターサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



※ 2023年は実績、2024年以降は予測

(出典) IDC Japan, 2024年10月「国内データセンターサービス市場予測、2024年～2028年」(JPJ51508524)

\*1 <https://www.statista.com/forecasts/1441973/revenue-data-center-market-for-different-segments-worldwide>

**関連データ** 国別のデータセンター市場（売上高）の推移と予測

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00260> (データ集)



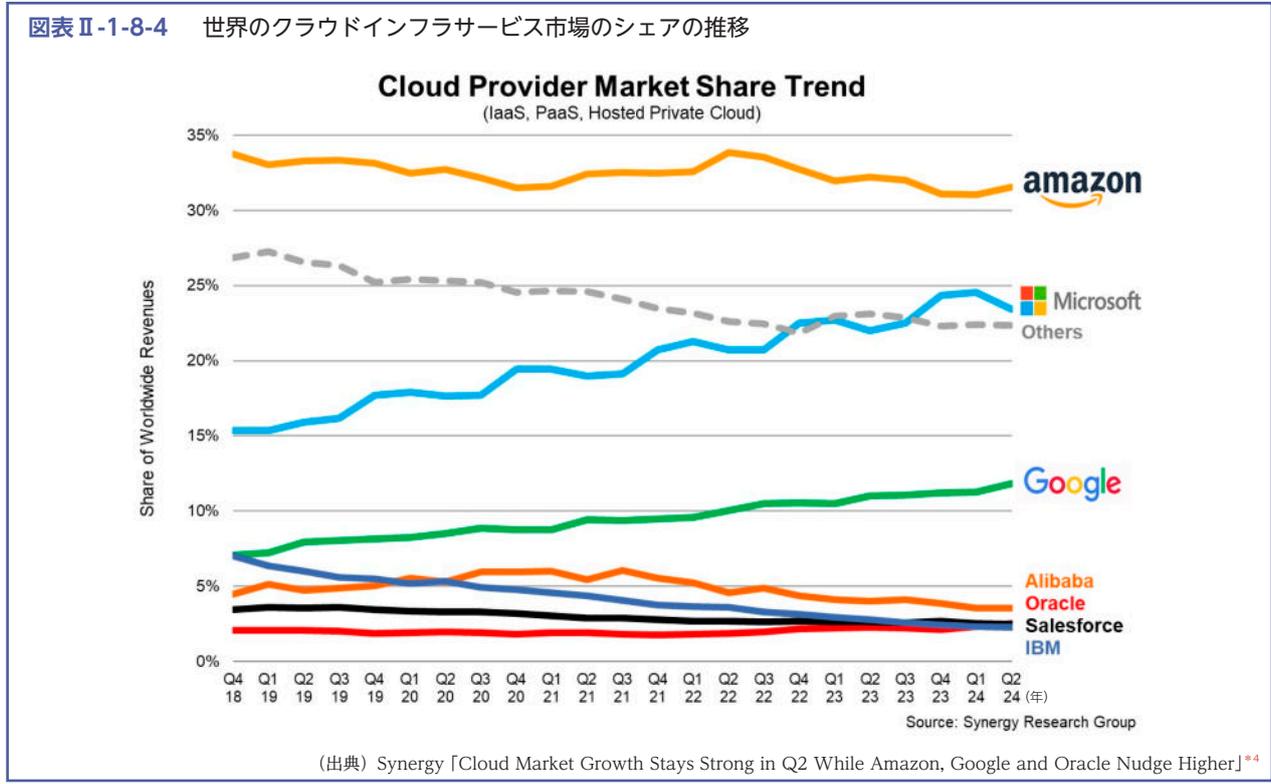
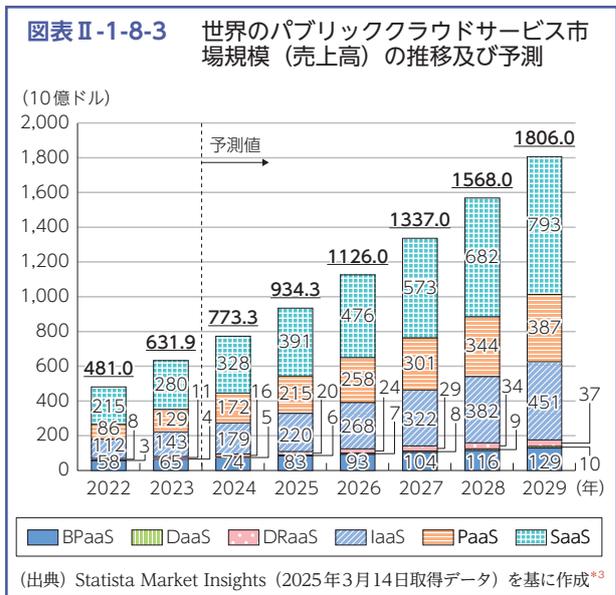
**関連データ** 国・地域別のデータセンター数

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00261> (データ集)



## 2 クラウドサービス

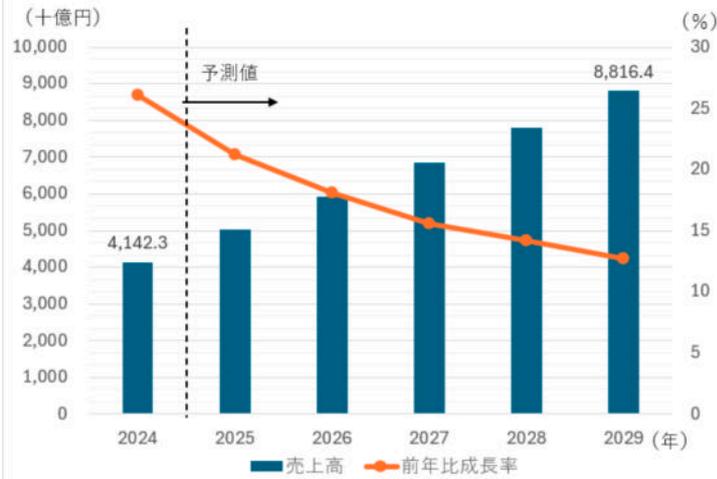
世界のパブリッククラウドサービスの売上高は2024年に7,733億ドル（前年比22.4%増）まで増加すると見込まれている。要因としては、ビジネスを展開する上でクラウドが不可欠なものになっていることに加え、企業の柔軟性と拡張性への志向の高まりが挙げられる。また、生成AIの基盤モデル作成や関連アプリケーションの利用が拡大していることも市場の成長を後押ししている（**図表 II-1-8-3**）。世界のクラウドインフラサービス\*2への支出額のシェアは引き続きAmazon、Microsoft、Googleの順に大きく、2024年第2四半期時点でAmazonはおよそ32%、Microsoftは23%、Googleは12%となっている。近年はMicrosoftとGoogleのシェアが拡大傾向であるが、市場は依然として、大手3社のクラウドサービスが大きなシェアを有している（**図表 II-1-8-4**）。



\*2 IaaS、PaaS、ホスティング型プライベートクラウドの合計  
 \*3 <https://www.statista.com/outlook/tmo/public-cloud/worldwide>  
 \*4 <https://www.srgresearch.com/articles/cloud-market-growth-stays-strong-in-q2-while-amazon-google-and-oracle-nudge-higher>

日本のパブリッククラウドサービス市場<sup>\*5</sup>は、高い成長率を遂げ、2024年は4兆1,423億円（前年比26.1%増）となった（図表Ⅱ-1-8-5）。

図表Ⅱ-1-8-5 日本のパブリッククラウドサービス市場規模（売上高）の推移及び予測



（出典）IDC Japan, 2025年2月「国内パブリッククラウドサービス市場予測、2025年～2029年」(JPJ52152425)

### 3 エッジコンピューティング

世界のエッジコンピューティングの市場規模（支出額）は、2024年に2,270億ドル、2028年には3,800億ドルまで拡大すると予測されている（図表Ⅱ-1-8-6）。

日本のエッジコンピューティングの市場規模（支出額）は、2025年に前年比12.9%増の1.9兆円になると推計され、2028年には2.6兆円まで拡大すると予測されている（図表Ⅱ-1-8-7）。

エッジコンピューティング技術のなかでも、モバイル通信を考慮したMEC（Multi-access Edge Computing）では、クラウドとデバイスの間でやりとりするデータを、クラウドで計算処理する代わりに通信ネットワークのエッジ（デバイスの近く）にあるエッジサーバー（エッジDC）で処理する技術であり、遅延の影響を回避できると期待されている。

国内では、NTTドコモによる「docomo MEC」<sup>\*6</sup>、KDDIによる「AWS Wavelength」<sup>\*7</sup>、ソフトバンクの「5G MEC」<sup>\*8</sup>などMECサービスの活用や提供が行われている。主なユースケースとして、映像伝送や映像分析、遠隔操作・遠隔操縦、エネルギーのリアルタイム制御、XR、自動運転が挙げられている。

また、エッジAIを活用したソリューション市場<sup>\*9</sup>は、IoTとの相性も良いことから、IoT市場の広がりとともに堅調な拡大が続いている。

\*5 特別の規制や制限を設けずに幅広いユーザーに対して提供されるIT関連機能に特化したクラウドサービスを対象としている。

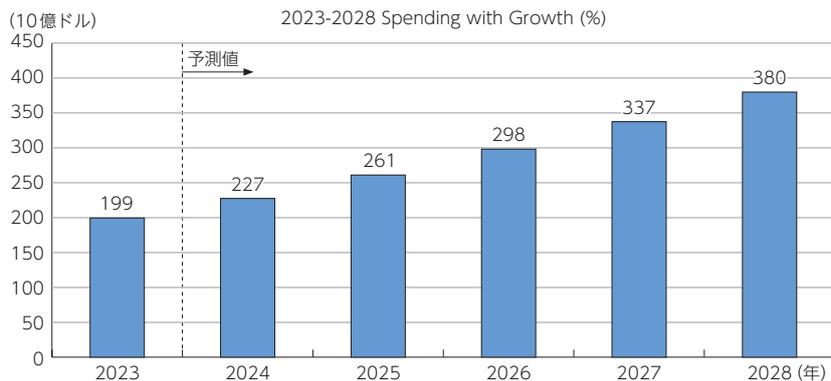
\*6 <https://www.mec.docomo.ne.jp/>

\*7 [https://biz.kddi.com/5g/aws\\_wavelength/](https://biz.kddi.com/5g/aws_wavelength/)

\*8 [https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2022/20220526\\_01/](https://www.softbank.jp/corp/news/press/sbkk/2022/20220526_01/)

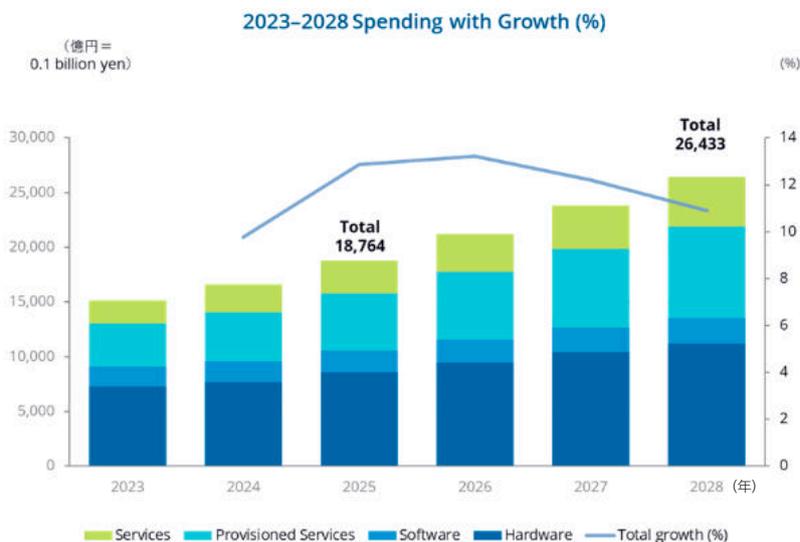
\*9 エッジAIカメラ、エッジAIコンピュータ、エッジAIプラットフォーム

図表 II-1-8-6 世界のエッジコンピューティング市場規模（支出額）の推移及び予測



(出典) IDC「Worldwide Edge Spending Guide 2025 V1」を基に作成

図表 II-1-8-7 国内のエッジコンピューティング市場規模（支出額）の推移及び予測



(出典) IDC「国内市場におけるエッジコンピューティングへの支出額は、2025年に前年比12.9%増の1兆9千億円となり、2028年には約2兆6千億円に達すると予測～国内エッジインフラ市場予測を発表～」（2025年4月8日）\*10

関連データ 国内のエッジAIソリューション市場規模の推移及び予測（2023～2029年度）

URL : <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/datashu.html#f00270>（データ集）



\*10 <https://my.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ53301925>